

INFORMATION

No. 27014

平成27年10月20日

検査内容変更のお知らせ

この度、下記のとおり検査内容の変更をさせて頂きたくご案内申し上げます。

記

【変更項目及び変更内容】

検査の手引き掲載頁	項目コード	検査項目 (別名)	変更箇所	新	現行	変更理由
未掲載	特伝	L型脂脂肪酸結合蛋白 (L-FABP)	検体量	部分尿2.0 mL	部分尿1.5 mL	検査項目 統合
			保存	冷蔵	凍結	
			報告	3~5日	4~10日	
			検査方法	CLEIA	ELISA	
			備考	凍結保存および他項目との重複依頼はさけて下さい。 酸性蓄尿は検査値に影響を及ぼす場合がありますので、 避けて下さい。室温保存ではデータ影響が認められる ため、速やかに冷蔵保存にてご提出下さい。		

※糖尿病性腎症や急性腎不全の早期診断、腎疾患の予後を推測するのに有用です。

- L-FABP は、腎臓の近位尿細管に発現する分子量 14kDa の可溶性蛋白であり、腎臓の再吸収機能を担う尿細管において、エネルギー代謝や脂質代謝に重要な役割を担っています。
- L-FABP は、近位尿細管が虚血や酸化ストレスの負荷を受けると発現が増強し、尿中への排出が増加することから、組織障害が進行する前のストレスの程度を反映する新しいバイオマーカーとされています。本項目は、検出感度の向上により、既存項目と比べ早期の検出が可能になると考えられます。

【変更日】 平成27年10月29日(木) 受付分より



一般社団法人

福岡市医師会臨床検査センター

〒814-0001 福岡市早良区百道浜1丁目6番9号 TEL(092)852-1506 FAX(092)852-1510